診療科・対象疾患	外科・胃癌
プロトコール名	FP+キイトルーダ 21d
1コース日数	21日
催吐リスク分類	高度

薬剤名	投与量	day1	2	3	4	5	6	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21							
キイトルーダ注	200mg/body	●																										
シスプラチン注	80mg/㎡	●																										
フルオロウラシル注	800mg/㎡	●	●	●	●	●																						

治療スケジュール

処方

（必要時）オランザピン錠（2.5）　2錠　1日1回　夕（day1、2、3、4）

※ 治療前日から翌々日まで、輸液負荷を行うこと
※ 1日尿量が3000mL以上になるように調整
※ 当日は測尿を行う
※ シスプラチンは最大6コースまで

Day1

生食　500mL（ルート確保用）
→ 5時間 →
生食 100mL
キイトルーダ注 200mg/body
→ 30分 →
生食 50mL
→ 15分 →
アロカリス注 235mg
パロノセトロン点滴 0.75mg
デキサート注 9.9mg
→ 30分 →
生食 50mL
→ 15分 →

フィルター付ルート使用
キイトルーダ投与中は生食を止める

20%マンニットール注 300mL
→ 90分 →
生食 300mL
シスプラチン注 80mg/㎡
→ 2時間 →
フィジオ140　500mL（5-FUと同時投与）
→ 5時間 →
生食 500mL
フルオロウラシル注 800mg/㎡
→ 24時間持続 →

※ ***フィルター不可***

Day2-5

デキサート注 6.6mg
→ 静注 →
フィジオ140　500mL（5-FUと同時投与）
→ 5時間 →
生食 500mL
フルオロウラシル注 800mg/㎡
→ 24時間持続 →
フィジオ140　500mL（5-FUと同時投与）
→ 5時間 →